

社会人医学教育部門 主催セミナー：「乳がん」コース

	第一日(8月25日)	第二日(8月26日)
午前		9:00-9:30 講義：診断 (乳腺・内分泌外科) 9:30-10:00 講義：外科手術 (乳腺・内分泌外科) 10:00-10:30 講義：内分泌療法 (乳腺・内分泌外科)  10:45-11:30 講義：化学療法(抗癌剤・分子標的薬) (乳腺・内分泌外科) 11:30-12:00 症例検討会 (乳腺・内分泌外科)
昼食		12:00-13:00 昼食(病院食) (栄養マネジメント部)
午後	18:00-18:30 オリエンテーション：乳腺・内分泌外科紹介 自己紹介 (教育センター・乳腺・内分泌外科)	13:00-13:30 患者交流 (乳腺・内分泌外科)  13:45-14:45 実習：デジタルマンモグラフィ読影 (乳腺・内分泌外科) 15:00-16:00 実習：触診、乳腺エコー、針生検(マンモトーム) (乳腺・内分泌外科)  16:15-17:00 総合討論・研究紹介 (乳腺・内分泌外科)  17:00-17:10 修了式
夕	18:30-20:00 懇親会 場所：病院 14階スカイレストラン	

\*アウトラインは下記のページに掲載しております。

今日、本邦において乳がんは女性癌罹患率のトップの座にあり、増加傾向であります。また、日本における乳がん医療の問題点を結果から述べれば、欧米にくらべて死亡率が増加の一途をたどっていることでもあります。欧米の成績からマンモグラフィ検診による早期発見乳がんのほとんどが適切な治療により治癒することは知られていますが、検診受検率は一向に増加していません。死亡率を減少させるためのもうひとつの理由としては、適切な治療、特に、再発予防のための（手術の）補助療法の実行であると言われています。さらに、転移再発乳がんに対する治療法の進歩により、長期の延命も可能になってきました。最新の乳がん診療は、その精度や効果の高さだけでなく、患者さんのQOL（生活の質）も考慮したものへと進歩してきています。このように、乳がん診療のためのモダリティーは世界的な競争の中で日々進化しているのが実情です。今回のセミナーでは、最新の乳がんの診断、手術、薬物療法、研究の実際と問題点、そして今後の動向をすこし専門的に知っていただき、検診でも導入され始めた最新のデジタルマンモグラフィやエコー検査を体験していただくことで、これからのお仕事や実生活で役立つように企画をすすめています。内容の充実から人数に限りがありますが、どうぞ、ふるって御参加のほどお待ち申し上げます。